

「新たな伝統を」角館小学校開校



校歌を元気に歌う児童たち

角館西、角館東、西長野の3校を統合した角館小学校の開校式が4月7日、同小学校体育館で行われました。

開校式では、仙北市長が「新生・角館小学校が旧3小学校の卒業生の築き上げたすばらしい歴史と伝統を礎として、新たな伝統を築かれますことと、地域の皆さまの和をはぐくむ、開かれた学校として、発展しますことを祈念する」というあいさつがありました。また、武藤校長より「記念すべき新しい学校の

誕生に立ち会い、新しい歴史と伝統を積み重ねていくスタートラインに立つことができた。“活力ある学校”“開かれた学校”にしていきたい。『美しく咲け夢に向かって・なかよく・かしこく・たくましく』を角館小学校の教育目標に、それぞれの個性を大切に目標に向かって進んでほしい」とのあいさつがありました。さら



武藤校長のあいさつ

に、来賓のあいさつに続き、児童を代表し、6年生石川舞さんが新しいスタートに立ち「この日を楽しみに待っていた。3つの学校が集まり、もっと多くの友達や先生と勉強ができる。みんな仲良く笑顔のあふれる学校を作りたい」と喜びのこトバを述べました。

式に続き、校歌を作詞していただいた川村三千夫氏（角館町雲然）

と、作曲していただいた角館町出身の仙台フィルハーモニー管弦楽団団員の鈴木繁氏（仙台市）の紹介が行われ、記念に鈴木氏によるオーボエ演奏が行われました。校歌や「アメージンググレース」などの曲目を奏でられ、児童をはじめとした出席者は、その音色に耳を傾けていました。



石黒市長のあいさつ



児童代表の石川さん



校歌作詞者の川村氏



校歌作曲者の鈴木氏（中央）

